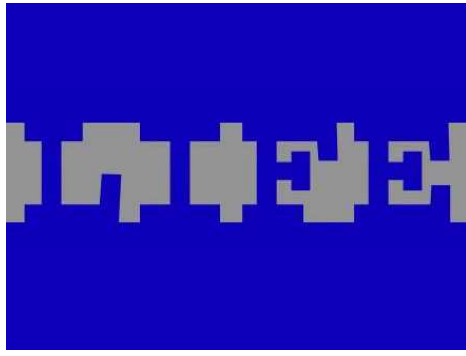


様々な感じ方

梅林中 一年 Y S

私たちは日々、色々なものを見て、それに対して様々な感想を持ったりする。では、十人が一つの絵を見て同じ感想を持つことはあるのだろうか。



左の図を見てみよう。図の中央にテトリスのような形をした白い物が五つあるだろう。次に上と下の黒い部分を手で隠して中央の黒い部分に注目してみよう。すると、「L I F E」という文字が出てくるだろう。今、あなたは「本当だ。こういう見方もあるんだ。」と驚いたのではないだろうか。このように、中心に見るものを変えると、不思議と絵が変わってしまうのである。

今、あなたは文房具屋でシャープペンを探しているとしよう。探していると、イメージしていたとおりのシャープペンがある。すると、目は吸い付けられるかのようにシャープペンに行く。このとき、となりにある別のシャープペンは全く目に入っていない。このように、中心に見るものが変わる事で見えるものが変わるといふことは私たちの身近にあるのだ。



上の図を見てみよう。さあ、この男性と女性は仲が良いだろうか。このような質問をしたとき、だいたいの方は「笑っているから仲が良いのだろうか。」と思うだろう。だが、この絵を百八十度回転してみよう。どうだい、笑っている二人が、怒っている二人に変わっただろう。このように角度を変えることで全く逆の表情が見えてくる。

このことを日常生活に当てはめて考えてみよう。あなたには、どうしても好きになれない人が一人はいるだろう。だが、見る角度、見る視点を変えてみると、「あれ、案外頑張り屋なんだ。」とか、「クラスのためががんばってくれてたんだ。」といった、その人の新しい面が見えてくるのではないだろうか。

私たちは、一瞬で色々なものに対して様々な感想を持っている。そして、その感じ方や感想は人それぞれであり、全く反対の感じ方をする人もいるのだ。そう、十人全員が全く同じ感じ方をし、同じ感想を持つことはないのである。であれば、一人一人の感じ方を認め、受け入れていくことが大切ではないだろうか。そして、自分の考えを一度立ち止まって見直してみてもいいだろうか。